

3. 必要な資金及び調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
設備資金 不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など(内訳) 入居保証金 1,500千円 内外装工事費 300千円 PC・周辺機器 1,000千円 その他 200千円	3,000千円	普通預金	2,000千円
		定期性預金	千円
		有価証券等	千円
		入居保証金等	1,500千円
		設備充当等	千円
		その他	千円
		小計(A)	3,500千円
		親戚・知人等からの借入(内訳)	千円
		金融機関からの借入(内訳)	千円
		〇〇銀行△△支店	4,000千円
運転資金 仕入資金、経費支払資金など(内訳) 外注工費 1,080千円 人件費 2,250千円 家賃 450千円 その他経費 720千円	4,500千円	〇〇銀行△△支店	4,000千円
		千円	千円
小計(B)	4,000千円		
合計	7,500千円	合計(C)=(A)+(B)	7,500千円

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

自己資金から支払い済みの設備資金等を記入します。

1年間の外注工費の平均(3か月分)とした。

今回の資金調達計画における借入金等を記入してください。

・人件費
役員報酬400千円+従業員1名350千円)×3か月
・家賃 3か月分
・その他経費
経費(220千円)×3か月+予備費60千円

※事業開始前または事業開始後2か月未満の場合は、創業に必要な資金を全て記載してください。
※左右の合計は、必ず一致させてください。

4. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	千円	売上高	21,700千円
外注工費	4,340千円	工賃収入	千円
人件費	11,450千円	雑収入	千円
その他費用	4,440千円		
利益	1,470千円		
計	21,700千円	計	21,700千円

【客数・単価根拠より】
新規開発 19,000千円
保守案件 2,700千円

売上の20%と設定

※利益から借入金を返済します。初年度に十分な利益が見込めない場合、2~3年後を含めた中期計画が重要となります。

5. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
〇〇(株)	年 7,000千円	検収後翌月〇日現金回収	(株)〇〇	年 3,100千円	月末締め翌月〇日現金払
〇〇システム(株)	年 5,000千円	検収後翌月〇日現金回収	〇〇ソフト(株)	年 1,240千円	月末締め翌月〇日現金払
その他	年 9,700千円	検収後翌月〇日現金回収		年 千円	

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

6. 借入金等状況(※)

借入先等	資金用途	借入残高	残存返済期間	年間返済額
〇〇信用金庫	自動車ローン	3,000千円	30ヶ月	1,200千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください。(経営者本人が負担している保証債務も含まれます)

7. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入してください)

顧客との信頼関係が重要な業界であり、納期は必ず守るように努める。
従業員は1名であり、月1件しか対応できないが、折衝からプログラムまでを当社で行うため、利益率が高い。
半年後には従業員を1名増やし、月2件の受注に対応できる体制を整える。
従業員も業務システム開発の経験が長く、品質には自信がある。

■客数・単価根拠

【新規開発】

単価1,000千円

毎月1件、6か月目から月2件受注

※主要取引先の元請から複数案件の受注見込みはあるものの、従業員1名の2名体制では1件が限界。そのため、6か月後に1名追加雇用し、月2件を受注する。

【保守案件】

単価30千円

1か月目は5件(前職からの引継ぎ見込み)

3か月目以降、2か月毎に1件ずつ増(新規顧客の50%の追加見込み)

外注費 売上の20%

役員報酬: 400千円/月

人件費: 350千円/月

(創業時1名、6か月目から1名追加雇用)

家賃: 150千円/月

その他経費: 220千円/月

(通勤交通費50千円/月、光熱費40千円/月、

ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)